

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成30年5月16日（水）
10：45～11：30（3校時）
11：40～12：25（4校時）
場 所：松江市立持田小学校体育館
対象者：同校6年生 50名
指導者：○6年部教職員
○島根県教育庁文化財課
野々村安浩・面坪紀久・吉永壮志

1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと込められた思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
10：45～10：50（5分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・発掘調査でみつかった遺物や遺跡の写真パネルなどを活用。
10：50～11：20（30分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。 ※大仏完成後、思い思いの場所に座って、巨大さを体感できる写真を撮影。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
11：20～11：30（10分） ③「奈良の大仏」について、つくられた背景と大仏の特徴について学ぶ。	・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行。 ・理解しやすい写真パネルを多様。

3. 展開

※4校時も同様の時間配分で実施。

4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル
- ・〔説明用具〕遺物、説明用パネル